

阿蘇野・直山まちづくり協議会
まちづくり計画

令和 4 年 2 月

阿蘇野・直山まちづくり協議会

目次

1. 阿蘇野・直山まちづくり協議会設立の背景について	1
2. 住民アンケートの実施	2
3. 令和3年度チャレンジ事業.....	4
4. 阿蘇野・直山まちづくり協議会設立のメリット	5
5. 阿蘇野・直山まちづくり協議会の活動計画	6
6. 阿蘇野・直山まちづくり協議会の体制.....	7

1. 阿蘇野・直山まちづくり協議会設立の背景について

阿蘇野小学校の統廃合や JA の撤退など地域を取り巻く課題が複雑になり、「阿蘇野まちづくりを考える会」を発足しました。
(令和元年 10 月・各自治区の代表者等で構成)

その際の目的は以下の 3 点です。



①阿蘇野・直山地域を未来へ繋いでいくこと

②伝統と自然を守り、優れた観光資源を活用し、昔の活気を取り戻すこと

③これらの活動を阿蘇野・直山地域の住民が一体となって取り組むこと

具体的には、

福祉

地域
行事

防災



などが重要な課題として挙がっています。

そして、

これらの課題を踏まえ、**阿蘇野・直山地域の活動の中心を担う、**

新たなまちづくり組織「阿蘇野・直山まちづくり協議会」(仮称)

の設立に向け、自治区代表者や各種団体代表者等を中心とした検討組織「阿蘇野まちづくり準備会」を設立し、協議会設立までの準備を行いました。

2. 住民アンケートの実施

令和元年10月に発足した「阿蘇野まちづくりを考える会」では、毎月1回の会議を開催し、阿蘇野・直山地域の今後のまちづくりの方向性を見据えるため、住民アンケートを実施しました。

対象者	阿蘇野・直山地域に住んでいる中学生以上の方と、現在は違う所に住んでいる阿蘇野・直山地域の出身の方
実施期間	2020年11月～2020年12月
回答者数	住民210名（配布数400枚） 出身者76名（配布数200枚）合計286名

① 阿蘇野・直山地域の生活で困っていること、改善すべきこと

住民が選ぶ **困っていること** TOP3（複数選択可能 n=210）

順位	回答	割合
1位	農業について（田畑の管理等）	18.1%
2位	家の周囲の掃除や手入れ（家の周囲の草刈等）	12.9%
3位	移動について（移動手段がなく買物に行けない等）	11.0%

男性は農地管理や家周りの草刈り、
女性は日常の移動という回答が多くなっています。

住民が選ぶ **改善すべきところ** TOP3（複数選択可能 n=210）

順位	回答	割合
1位	買い物が不便	35.2%
2位	病院への通院が不便	23.3%
3位	道路・水道等の生活環境が悪い	22.4%



日常の移動について、改善の声が多く出ました。

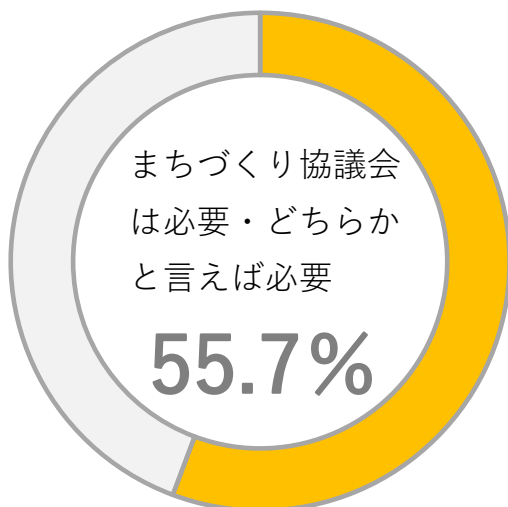
② 今後阿蘇野・直山地域で重点的に取り組むべきこと

住民が選ぶ 取り組むべきこと TOP5 (複数選択可能 n=210)

順位	回答	割合
1位	高齢者等の見守り	28.6%
2位	地域資源の発掘と活用	24.3%
3位	共同作業(清掃、草刈)	21.4%
4位	健康づくり	16.2%
5位	祭りやイベント	13.8%

日ヶ暮と高津原は「高齢者等の見守り」の割合が高く、栢ノ木、伊小野は「健康づくり」が高いなど、地区によって回答結果に特色が出ています。

③ 阿蘇野・直山地域でのまちづくり協議会の必要性



アンケート結果や考える会での話し合
いで、阿蘇野・直山地域のまちづくり
を担う新しい組織が必要であるという
結論になりました。

アンケートの結果をもとに…

令和3年度の活動(チャレンジ事業)は「生活支援」「イベント実施」の2本柱で取り組みました。

令和3年度からは、「阿蘇野まちづくりを考える会」を「阿蘇野まちづくり準備会」に移行し、具体的に新しい組織の方針等を検討しました。

生活
支援

イベント
実施

3. 令和3年度チャレンジ事業

令和3年度は阿蘇野まちづくり準備会で、以下の2つのチャレンジ事業に取り組みました。

チャレンジ事業①

健康サロン開催(11月~12月)



誰でも楽しめる
ゲームで
大盛り上がり!

チャレンジ事業②

阿蘇野小学校クリーン大作戦(11月14日)

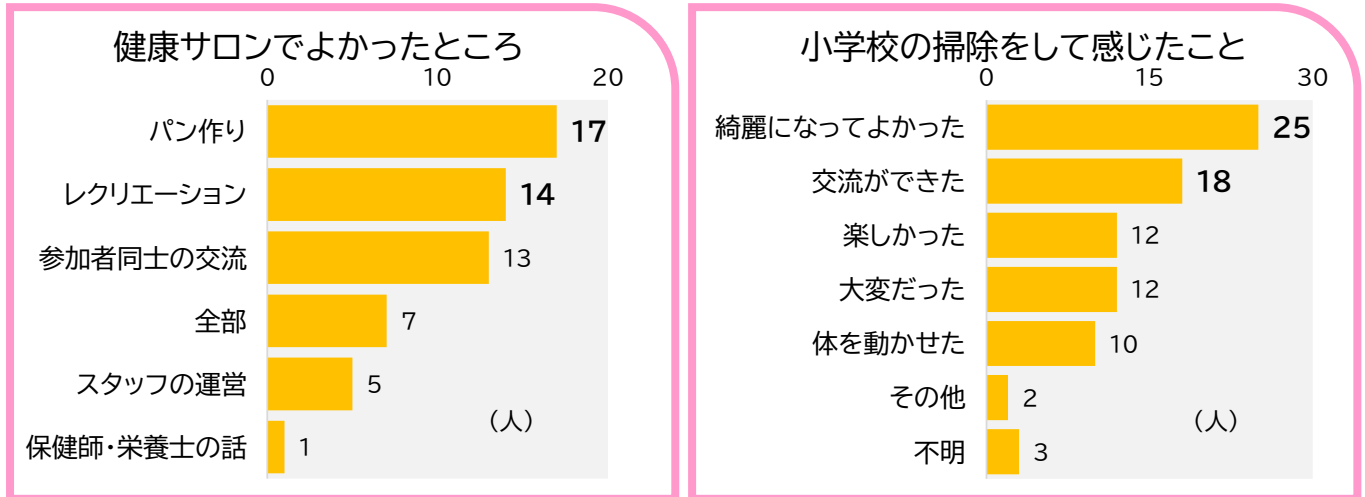


校舎もプールも
ピカピカに
なりました!

チャレンジ事業で実施した活動をこれからも継続していきます。

チャレンジ事業に参加したみなさんの感想です

健康サロンでは、「パン作り」や「レクリエーション」といった具体的な取り組みの他に、「参加者同士の交流」という項目も上位になっています。小学校の掃除でも同様の結果となりました。



2種類のチャレンジ事業の成果をもとに、阿蘇野まちづくり協議会の活動を決定しています。

4. 阿蘇野・直山まちづくり協議会設立のメリット

協議会を設立することによる、阿蘇野・直山地域へのメリットは以下です。

- ◎一つの自治区だけでは取り組みづらい活動が全体で取り組み、自治区の負担が減る。(例:敬老会、見守り、イベント、移住促進…など)
- ◎地区がまとまって要望を出すことができるため、要望が通りやすい。(特に小さな地区はメリットが大きい。)
- ◎高齢化の課題をみんなで考え、実行し、マンパワー不足を解消。
- ◎まちづくり協議会が主体になると、補助事業でサポートが受けられる。

推進委員
の声

何もしなければ、何も始まらない／阿蘇野小学校の有効利用／夢を語れるような環境作りとブランド作り／行政への要望が阿蘇野全体で言える！



5. 阿蘇野・直山まちづくり協議会の活動計画

交流・生活支援 (R4～R8)

自治区、世代を超えた交流、生活の支援活動を行います。地区の住民の交流ができる小さな活動を生み、暮らしに必要な支援のきっかけづくりを目的とします。

【具体的活動】
料理、サロン、
おしゃべりカフェ
等



環境保全 (R4～R8)

農地や道路など、阿蘇野・直山地域の環境の保全活動を行います。
高齢化による住民の負担軽減による暮らしやすさの改善や、活動の安全を目的とします。

【具体的活動】
草刈り、
クリーンアップ等



地域活性化 イベント (R4～R8)

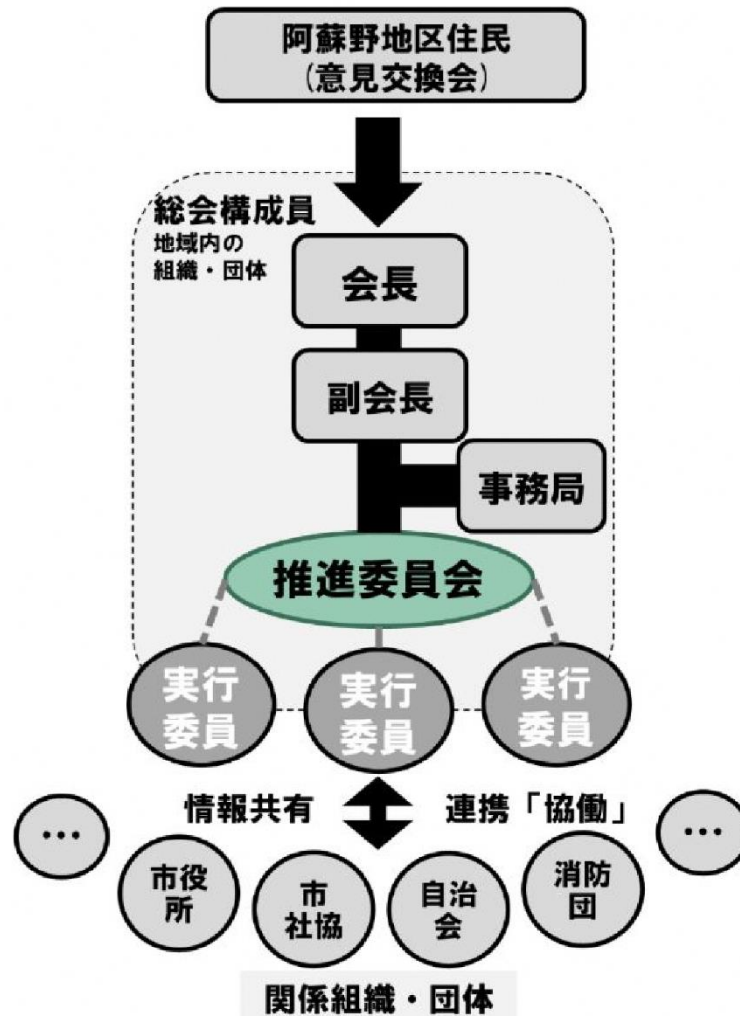
自治区、世代を超えた交流ができる活動を行います。地域外へも積極的に情報発信し、阿蘇野・直山地域の出身者との交流や、移住者との交流、伝統文化の保全などを目的とします。

【具体的活動】
ふるさと祭り、
運動会、敬老会
等



6. 阿蘇野・直山まちづくり協議会の体制

協議会では、下記の組織体制で活動を行います。推進委員会を構成する推進委員は阿蘇野・直山まちづくり協議会の様々な活動の計画・準備を担当します。



運営方針:

意見交換会で出たアイデアをもとに、役員会で活動をまとめ、
定期的(月1回予定)に推進委員会議を開き、
推進委員で計画した活動について、
各関係組織・団体から実行委員を選出し、各活動を運営していきます。